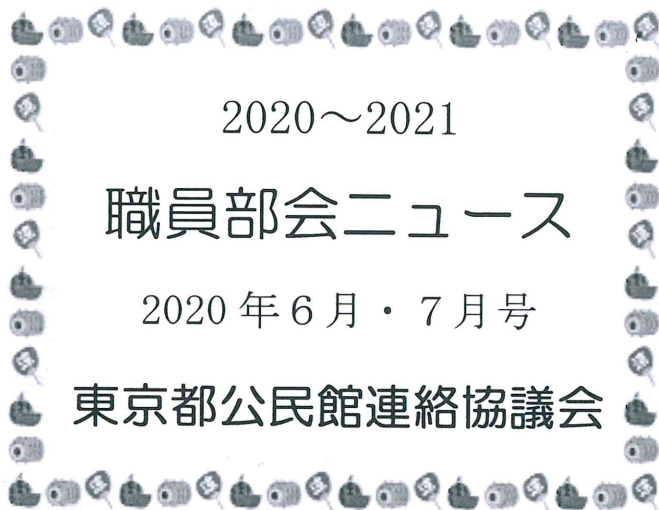




2020～2021

職員部会ニュース

2020年6月・7月号

東京都公民館連絡協議会

発行：東京都公民館連絡協議会

会長：東大和市

職員部会長：国分寺市（増本）

同副部会長：国立市（檜垣）

開催：国分寺市・原則第3水曜日

会員：西東京市（山本）・福生市（藤木）・

狛江市（金子）・東大和市（須藤）・

昭島市（山本）・町田市（菊島）・

小金井市（山崎）・小平市（佐藤）

日野市（瀧口）・国分寺市（山田）

これまでの職員部会報告

4月・5月の職員部会は、新型コロナウィルス感染拡大防止のため国分寺市内の公民館が臨時休館をしており、集会方式では開催できず、書面での開催となりました。

■第3回職員部会について

6月5日になってようやく公民館の再開館に伴い、同月17日（水）午後2時から国分寺市立本多公民館において、第3回職員部会が開催となりました。主に、事務局からは東京都公民館連絡協議会の定期総会についてご報告し、ご参列いただきました今年度職員部会の担当者の皆さんの顔合わせ、連絡先の確認、今年度の予定について確認しました。また、協議事項としては、ニュースレターの担当市決めと今年度の研修テーマや内容、各市からの情報提供など行われました。

令和2年度都公連職員部会ニュースレター 担当市

	担当市	
6月7月	国立市	西東京市
8月9月	福生市	狛江市
10月11月	東大和市	昭島市
12月1月	町田市	小金井市
2月3月	小平市	日野市

■第4回職員部会について

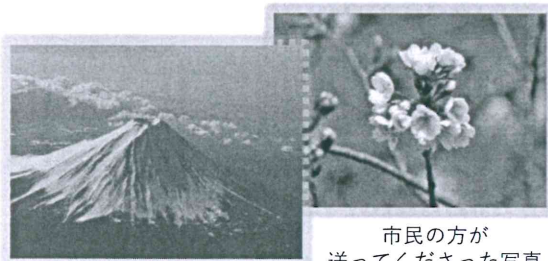
7月15日（水）午後2時から前回と同じく国分寺市立本多公民館にて開催されました。事務局からは7月に開催された都公連第2回企画委員会（町田市にて）のご報告を行い、21日開催予定の都公連第2回役員会の議題と都公連第4回委員部会の議題について情報共有いたしました。協議事項としては、例年9月に予定しております職員部会主催の研修会をどうするかがメインテーマとなりました。各市担当者からは①研修会を実施するのか？するのならば、テーマや講師の人選をどうするのか？②コロナ禍での現状、集会方式の研修を実施するリスクを考えると延期または中止が望ましい。③そもそも三密を回避するためには研修会は中止すべきではないか。

（実際に委員部会主催の研修は10月に延期されました）等の議論があり、今年度職員部会としては集会方式の研修会を中止することとなりました。その代替案として、9月か10月にオンライン学習や主催事業をyou tubeチャンネルへアップしている等リモート対応を先駆的に取り組んでおられる町田市さんへ見学に伺うことと出席者の合意を得ました。詳細が決まりましたら、改めてお知らせしたいと思います。

国立市公民館で発行している公民館だよりについて紹介します。

公民館だよりには、主催した講座に関する特集や、主催事業の紹介、市民サークルの紹介などを掲載しています。毎月、印刷業者と3回の校正を経て、翌月の5日に市民に全戸配布されるように作ります。

文字だけではなく写真やイラストも載せて、いろんな方に興味をもってもらえるように工夫をします。写真は、私たち職員が撮ったものだけでなく、市民の方が公民館へ持ってきてくださったものもあります。どれも素敵な写真ばかりです。



市民の方が
送ってくださった写真

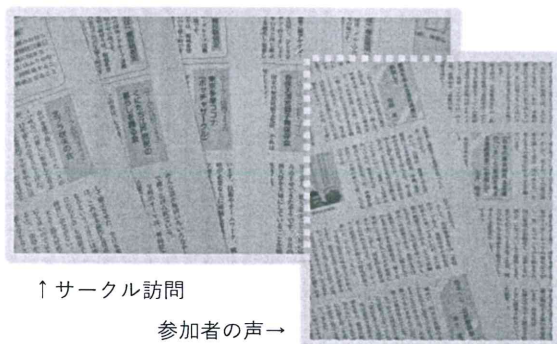


編集研究委員会のようす

月の上旬には、主に国立市民で構成された第17期編集研究委員会（2年任期のボランティア）が、その月の公民館だよりについて、レイアウトや内容、講座の反響などを話し合い、よりよいだよりを目指しています。また、この編集研究委員会はメンバーで担当月を決めて、市内で活動しているサークルを訪問取材し、紹介記事を掲載しています。

市民の方が書いてくださる記事として、他にも「参加者の声」というものがあります。講座の感想や学びを参加者の目線から知ることができるのは、私たち職員にとっても興味深いものです。

4、5月はコロナウィルスの影響で、主催講座も市民サークルも活動を停止していたので、内容を考えるのが大変でしたが、こんな時期だからこそ、しっかりじっくり読めるもの（講演要旨や主催教室の歴史など）で構成しました。



↑サークル訪問

参加者の声ー

だよりには、いろんな箇所に国立市のホームページにつながるQRコードが載っています。公民館についてのお知らせや、過去のだよりをまとめたページに飛ぶことができます。今は、文字の書かれたページにしか遷移できませんが、動画や音声をお届けできるようになることが今後の課題です。一度、音訳版の掲載に挑戦したのですが、映像、音声をアップロードするためには、館内で共有しているパソコンを丸一日占領してしまうことが判明し、諦めました。録画や録音は簡単にできるのに、アップロードするとなると...意外なところに落とし穴がありました。



開館状況や講座に関するお知らせが多かった5月号では、HPに繋がるQRコードがだいぶつやくでした！



公民館だよりは、①広報（市民に公民館事業のお知らせをしたり、市民と市民をつなぐ媒体として）②記録（事業の成果を共有し蓄積することで市民文化の歴史を形成する）③学習教材（記録が新たな学習教材となり、事業の継続性にも寄与する）という三つの役割を持っています。これからも、世代を問わずたくさんの方の役に立ち、魅力的でおもしろい、市民の誇りとなるような公民館だよりを発行していきたいと思います。

西東京市



令和2年西東京市公民館の新型コロナウイルス感染拡大防止対策とコロナ禍における学びの継続や新しいコミュニケーション方法に関する取組や検討経過

西東京市教育部公民館事業係(柳沢公民館)

山本裕美子

都公連加盟市で各公民館での貸館としての新型コロナウイルス感染拡大防止対策や、主催事業や公民館保育室や障害者学級の再開に向けた感染予防対策についても、各担当者より情報を共有していただけてとても参考になりました。どうもありがとうございました。以下西東京市の状況です。

3月 1日 臨時休館（～5月31日）

4月20日 在宅勤務導入（～5月31日）常勤正規職員週1回在宅勤務

週4日勤務・週3日勤務職員は、週2日のみ出勤し、残りは在宅勤務

6月 1日 制限付き開館。1m～2mのソーシャルディスタンスを確保した利用方法等の協力依頼
定員50%以下、3時間以内、飲食なし、自宅検温、マスク着用、手指・備品消毒、換気

6月23日 時間制限と飲食制限の解除。それ以外の下記は継続。

定員50%以下、自宅検温、マスク着用、手指・備品消毒、換気、1m～2mの間隔確保

6月24日 公民館運営審議会にて、学識委員より、第2波第3波での臨時休館等に備えて学びを止めない対策の検討をお願いしたい、オンラインの活用は検討していますかと質問あり。

7月 1日 小音楽スタジオ室も利用再開。6月21日利用団体懇談会で備品消毒こまめな換気確認後。

7月27日 秘書広報課担当者による動画編集作成と市のYoutubeチャンネルを活用したホームページへの掲載手順に関するレクチャーを公民館職員向けに開催

8月3日 オンライン会議アプリ webex と zoom を取込んだタブレットを使用して公民館職員で体験

8月17日 オンライン会議アプリ webex と zoom を取込んだタブレットを分館長会議や担当者会議で体験

8月24日 月刊誌社会教育編集長近藤真司氏を講師に「コロナ禍における学びの継続と新しいコミュニケーションに関する全国の先進事例から学ぶ」西東京市公民館専門員研修を開催。
会場での直接受講とオンライン会議アプリ zoom 使用して他の公民館でも同時受講予定

9月から 障害者学級再開予定。定員50%以下。自宅検温。マスク着用。手指備品消毒。換気。

10月から 保育室再開予定。定員50%以下。検温前夜当日2回。マスク着用。手指備品消毒。換気。

10月31日 6月公運審にて「学びを止めない対策としてオンラインの検討はしているか」と質問された学識委員を講師に招いての主催講座が予定されていたので、市民は会場で直接受講するが試行的に公運審委員達にオンライン会議 web アプリでの参加を依頼する予定

Webex 会議版よりもオンライン会議アプリ zoom 無料版の方ができる機能が多く、Zoom も無料版より有料版の方ができることが多いので、今年度中は予算が無いため、オンライン会議アプリ zoom の無料版を使用して体験・試行を続け、zoom 有料版費用と事務所内認証式 wifi を講座室まで届く強力なものにするかモバイル wifi を全6館分新年度予算要求することを検討中。

アマビエ♥ギャラリー

国分寺市立恋ヶ窪公民館では、先月より中庭のガラス面にアマビエの塗り絵を展示しています。元々アマビエとは、肥後国（今の熊本県）に出現した妖怪で、疫病などを予言し、『災いが起きた時には自分の姿を描き写したものを人々に見せるように』という言い伝えがあり、いま全国に広がりを見せています。国分寺市では、イラストの得意な職員が、江戸期の図柄を現代風にモチーフ（頭には「市の鳥」カワセミがのっています！）にして、子どもたちから塗り絵を募集しました。



©芹沢陽子

カラーでお見せできないのがとても残念ですが、これらは近隣の小中学生が描いてくれたものです。一日も早く、新型コロナウイルスが

落ち着いて、以前のように賑わいのある公民館に戻るよう、職員一同願っております。



詳細につきましては以下のとおり、国分寺市ホームページのURL をご確認くださいませ。

<http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/kuras/hi/1012309/kouminkan/1023290/1023663.html>



編集後記

本来であれば、今年の夏はオリンピック・パラリンピック東京 2020 が開催され、皆さんが手に汗にぎる応援をしていたであろうと思います。しかし、実際には「特別な夏」として、私たちの暮らしや意識はいろいろな変化と対応を迫られています。この原稿をまとめている最中でも国分寺市では気温が 38 度に達し、体温を超えた「危険な暑さ」を経験しました。毎日速報されるコロナ感染者数の発表に一喜一憂せずに、「新しい生活様式」を踏まえた公民館の形や学習支援を皆さんと一緒に模索できたらと思います。